



2025 10/3 Fri 14:00 ▶ 5 Sun 15:00

ほっかいどう 秋の大収穫祭

開 催 報 告 書

会 場

- ・赤れんが庁舎前庭(赤れんがガーデン)
- ・札幌市北3条広場(アカプラ)

主催／北海道

INDEX

開催概要	1
会場全体図	2
出展者	
赤れんがガーデン会場	3
アカプラ会場	6
特別企画	8
ステージ	11
来場者アンケート	13
主な広報実績	17

開催概要

イベント名	ほっかいどう秋の大収穫祭
日 時	10月3日(金) 14:00～18:00 4日(土) 10:00～17:00 5日(日) 10:00～15:00
会 場	赤れんが庁舎前庭(赤れんがガーデン)(10/3～10/5) 札幌市北3条広場(アカプラ)(10/4・5)
来場者数	5万3,000人(3日間合計)
目 的	<p>我が国の食料安全保障の確保に向け、本道農業が重要な役割を着実に果たしていくためには、生産者と消費者の距離を縮め、消費者など様々な方が共感し、応援してもらうことが必要であることから、「食べる」「知る」「体験する」の三つの視点から生産者と消費者の交流を促進し、相互理解を醸成することを目指す。</p> <p>具体的には、</p> <p>「食べる」…… 対面販売や飲食を通じて、北海道の秋の味覚が都市と農山漁村をつなぎ、今年の無事の収穫を共に喜ぶ</p> <p>「知る」…… 対話や交流を通じて、生産者の知恵や情熱に共鳴し、お互いに感謝の気持ちを伝える</p> <p>「体験する」… 参加型イベントを通じて、農林水産業や農山漁村の魅力を体感し、産地に想いを馳せる</p> <p>これらの取組を通じて、消費者と生産者、都市と農村が「共感」で結ばれ、本道農業・農村への関心と関与を深め支える力とすることにつなげる。</p>
催事内容	<ul style="list-style-type: none">①秋の味覚の対面販売や飲食提供、展示PR②人気農業アニメ・漫画とのコラボレーション③来場者の会場内周遊を促すスタンプラリー④周辺飲食店での道産食材を使用した特別メニューを提供⑤北海道の農業に対する理解を深めることを目的としたステージイベント
主 催	北海道
企画運営	総合商研株式会社

会場全体図

赤れんがガーデン会場



アカプラ会場



出展者

赤れんがガーデン会場

後志有機農業ネットワーク



化学肥料や農薬を使用せず、環境にやさしい農法を取り入れている生産者が、新鮮なトマトやナス等の野菜類をはじめ、豆類加工品、ジュースなどを販売。

北海道の農業



恵まれた土地資源を生かし、専門的で大規模な経営を主体とする農業が展開されている北海道での新規就農、農業アルバイト、食品ロス削減などの情報を発信。

北海道の水産業



余市郡漁業協同組合が余市沖で漁獲された水産加工品を販売したほか、昆布ブースでは和食文化を支えるだしや食材として重要な「昆布」を使った製品を販売。

北海道の林業



北海道産の木材から作られたアロマオイルやクリーム、飴などを販売したほか、道内唯一の林業専修学校「北森カレッジ」の魅力を紹介。

ホッカイドウ競馬



VRジョッキー体験やダートコースの実際の砂の展示などを通じて、門別競馬場で開催されているホッカイドウ競馬の魅力を紹介。

北海道和種馬保存協会



北海道和種馬（通称「どさんこ」）の曳き馬乗馬・ふれあい体験、パネル展示を実施。

北海道地方公営競馬振興協議会



ホッカイドウ競馬（日高町）、ばんえい十勝（帯広市）の収益金の一部を利用した医療・教育施設などへの地域貢献、畜産振興の取組を紹介。

喜茂別町



アスパラガスピクルスやコーン缶詰等の野菜加工品、町の公式キャラクター「ウサバらくん」の形をした「ウサバラ焼き」を販売。

平取町



平取町の冷涼な気候で育ち、選果場で厳しい基準をクリアした甘くて大きいびらとりトマトやトマトジュース「ニシバの恋人」などを販売。

せたな町



せたな町で55品種のジャガイモを生産する農家が厳選した新じゃが3種を使った彩りフライドポテトや素材推しコロッケなどを販売。

美深町



美深町の寒暖差の激しい大自然ですくすくと育った「もち米」と「南瓜」を販売。升を使って販売する「もち米すくい」体験を実施。

南富良野町



この秋採れた人参、じゃがいも、玉ねぎの詰め放題を実施したほか、「鹿串」、「バタジャガ」、「スイートコーン」等を販売。

出展者

赤れんがガーデン会場

最北端農村クロスロード交流会[宗谷]



良質な牧草をたっぷり食べて育った牛の生乳を使用した牛乳やアイスははじめ、ソーセージや牛タン、ベーコン、卵など、宗谷の幸を販売。

ミルクランド北海道



東京で展開中の人気店舗「MILKLAND HOKKAIDO→TOKYO」が北海道に登場。フライドポテトのチーズソースがけや、道内各地の工房で生産されたチーズなど様々な乳製品を販売。また、「出張酪農教育ファーム」として、乳しぼり体験やパネル展示等を実施。



札幌市



札幌市内の生産者や教育機関・支援団体が日替わりで出展。さつまいも、とうもろこし、野菜、果樹、きのこなどの農産物を販売したほか、高校生が作ったポップコーンや農業支援団体が作った焼きそばなどを販売。

三笠市



三笠市の肥沃な大地で収穫された玉ねぎの袋詰めを実施したほか、道内有数のワイン産地である市内で栽培・醸造されたワインを販売。

浦臼町



幻のメロン「キングメルティー」やミニトマトなど旬の味覚を詰め込んだジュースなどの加工品を販売したほか、にんにくのお玉すくいを実施。

北斗市



「白石農園」の神トマトジュースや「リッキーファーム」のお米や大豆など、丹精込めて育てた野菜や加工品を販売。

深川市



太陽の光をたくさん浴び、ふかがわのお米を食べながら健康に育った放牧豚「ふかがわポーク」の加工品やお米・野菜を販売。

増毛町



増毛町が推進する減農薬栽培で作られたリンゴ、梨、さくらんぼ、ブドウ、ブルーベリーなどの果樹やジュース等の加工品を販売。

ねむろのエゾシカ「根室ディア」



根室管内の認証施設で衛生的に処理した高たんばく・高铁分で脂質が少なくヘルシーなエゾシカ肉の焼肉を提供。

北海道養鶏会議



良質なタンパク質を含む鶏卵を積極的に取り入れていただくため、鶏卵に関する情報をゲーム形式で紹介。

出展者

赤れんがガーデン会場

北海道和牛ブランド推進協議会



北海道の大地で生まれ育った、厳格な肉質の基準をクリアしたものに与えられるブランド「北海道和牛」の試食を実施。

北海道産牛肉消費 拡大強化対策実行委員会



北海道産のホルスタイン種や交雑種の牛肉に関する展示を行ったほか、アンケート回答者を対象にした試食を実施。

小清水町



越冬した甘いじゃがいもを100%使用したスイートポテト「とろり」や銘菓「ほがじゃ」、地場産野菜、小麦を使った「うどん」等の特産品を販売。

清里町



今年で50周年を迎えるじゃがいも焼酎をはじめ、清里の大地が育んだじゃがいもでんぶや、清里町産小麦の豊かな風味が香るめん類などを販売。

弟子屈町



摩周和牛のカットステーキを実演販売したほか、摩周そば・うどんの乾麺、大豆を使った摩周珈琲、乳製品など、様々な特産品を販売。

広尾町



フライドホッケスティック、黒毛和牛100%のハンバーグ、焼肉の提供のほか、お魚の冷凍品や珍味など、広尾町の豊富な山の幸と海の幸を販売。

帯広市



JA帯広大正が出展し、よく寝かせて甘みたっぷりの大正メークインのフライドポテトや、大正野菜3兄弟「大正長いも」「大正だいこん」を販売。

豊浦町



比較的気候が温暖な胆振管内の西端に位置し、農業水産業が盛んな豊浦町から、大規模な農業ハウスで生産された新鮮な葉レタスを販売。

JAようてい



沢山のおいしい野菜を育て販売しているJAようていから、ジャガイモ、人参、大根などの野菜や、和牛カレー・キーマカレーなどの加工品を販売。

JA北海道女性協議会×AGRIACTION!



本年度に収穫されたばかりのじゃがいもなどの農産物の袋詰め放題や、サイコロを振って出た目で容器を決める大豆すくいなどの体験を実施。

北海道農協青年部協議会×AGRIACTION!



計りに831gの野菜を乗せる重量当て体験、アイスクリームづくり、牛の模型での搾乳体験、親子でおいしいおにぎり作り講座を日替わりで実施。

白老町



白老牛と白老豚の合いびきハンバーグを使用したハンバーガーや、白老牛ハンバーグクレープなど、肉汁たっぷりで満足感のある商品を販売。

出展者

赤れんがガーデン会場

さつまいも北海道プロジェクト



ピザの名店「PIZZERIA DEL CAPITANO」との協力により「道産さつまいもピザ」を提供し、需要拡大に取組。
(事務局:ノーステック財団)



アカプラ会場

北海道養豚生産者協会



安全・安心・おいしさの信頼ブランド「北海道パーク」。養豚生産者がこだわりをもって飼育したおいしい道産豚肉を試食にて提供。

愛別町



愛別の食材(そば、アロニアンビーツ)を使った料理、お菓子などを販売し、きのこだけじゃない愛別をPR。

湧別町



新鮮で旨味たっぷりのホタテを香ばしく焼き上げたホタテ焼き、柔らかでジューシーなゆうべつキステキ、風味豊かな玉ねぎを販売。

黒松内町



黒松内町の特産物手づくり加エセンター「トワ・ヴェール」が、受賞歴のあるチーズやジューシーな肉加工品、特産のカシスエールなどを販売。

剣淵町



「スーパーフード」として注目され、剣淵町で生産を開始したキヌアや、数十種類を超える品種のジャガイモなどを軽トラックの荷台に陳列し販売。

北海道きのこ生産者・消費振興会



北海道内で栽培されたきのこ、野菜を生産者自ら販売・試食提供したほか、菌床椎茸の収穫体験を小学生までを対象に実施。

北海道果樹協会



道内各地の果樹産地で収穫されたさまざまなフルーツを販売し、道産果実の消費拡大・PRを実施。

北海道花き振興協議会



道内各地で生産された旬な切花の販売や、アレンジメント体験教室の開催、写真撮影コーナーの提供などで「北海道の花」のPRを実施。

足寄町



放牧酪農が盛んな足寄町のチーズ工房(あしよろチーズ工房・しあわせチーズ工房・ありがとう牧場)が、新鮮な牛乳を使った職人の手作りチーズを販売。

出展者

アカプラ会場

JAグループオホーツク



オホーツクの豊かな自然が育んだとってもおいしい野菜の詰め放題と、カレーやドレッシングなど、オホーツクの食材を活かしたJAこだわりの加工品を販売。

当別町



高い生産技術で市場より高い評価を得ており、北海道でも有数の花き産地である当別町から、ユリやカーネーション、かすみ草などの切り花を販売。

新十津川町



新十津川町産のぼおずぎを使用したジェラートやジャムなどの加工品や、ミニトマト等の農産物を販売。

余市町



余市産りんごやブルーベリーなど旬の果物、アップルパイやどら焼きなど地元食材を使った菓子や水産加工品など余市町の特産品を販売。

蘭越町



らんこし米を販売したほか、世界で唯一、蘭越町だけで栽培され、レモンの香りが特徴の赤紫蘇「リモネン」の関連商品を新たな特産品として販売。

様似町



高山植物で有名なアポイ岳があり、ユネスコ世界ジオパークにも認定されている様似町から、アポイ米やはちみつ、昆布加工品などを販売。

環境と調和した農林水産業



道が、ゼロカーボン北海道に貢献する取組やスマート農林水産業などを紹介するとともに、小枝スプーン等の制作体験を実施。

北海道日本型直接支払推進協議会



お子様限定の体験メニューとして、「精米」「豆のさやむき」「てんさい重量あてクイズ」「手作りとなびピース」を実施。

北海道産麦コンソーシアム



「北海道産小麦を使用したホットケーキミックス」が抽選でもらえる小麦クイズを実施。
(構成：江別製粉・木田製粉・横山製粉・ホクレン・JA北海道中央会・北海道)

日本ビート糖業協会



てん菜(ビート)から作られた砂糖が北海道を代表する安全・安心な自然食品であることをPRするため、わたあめの無料配付やパネル展示を実施。



特別企画

百姓貴族

3rd Season

百姓貴族コラボ企画

©荒川弘・新書館／「百姓貴族」製作委員会

3期テレビ放送がはじまった荒川弘先生のアニメ「百姓貴族」。
北海道農業にかかわるアニメ番組と下記のコラボレーションを展開。

百姓貴族ブース



北海道十勝での農業体験をベースに北海道農業に刺さり込む作品がわかるブース。漫画やDVD、グッズの販売。

フォトスポット



百姓貴族ビジュアルを使用した顔出しパネルを作成、会場内に設置。高いコンテンツ力を活かし若年層を中心にイベント施策の一環として実施。

キャラクターグリーティング



百姓貴族のメインキャラクター「牛さん」が、会場内をグリーティング。



スタンプラリー



2か所に分かれ、広い会場内の周遊を目的としたアナログスタンプラリーが好評。



十勝ひとりぼっち農園

「十勝ひとりぼっち農園」コラボ企画

週刊少年サンデー、十勝毎日新聞で好評連載中の横山裕二先生の漫画とのコラボ企画。

十勝ひとりぼっち農園スペシャルトーク



移住および漫画制作の背景を踏まえ、北海道農業の魅力や収穫の喜びを語る。おいしいカレーができるまでの誕生秘話を語った。

十勝ひとりぼっち農園ブース



横山先生
による
後日談
エピソード

少年サンデー・十勝毎日新聞連載の漫画「十勝ひとりぼっち農園」のあのカレーを作者監修でラムカレーとして販売。



©横山裕二／小学館



特別企画

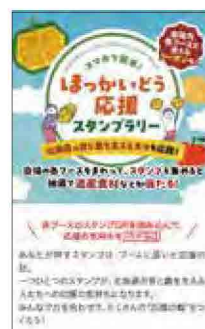
ほっかいどう応援スタンプラリー

- 各ブースに掲示されているQRコードを読み込むことでスタンプを獲得
- スタンプ10個ごとに、会場内総合案内所にて景品抽選に1回チャレンジ。
30個で最大3回まで抽選可能
- 各ブースから提供された農産品や農産物カードなどが当たる

期間中17,742件のQRコードの読み込みがあった。
応援メッセージは127件。クーポン利用は174件。

来場者の応援メッセージ

- 高温続きで作物には厳しい年ですが、頑張ってください
- いつも美味しい農産物をありがとうございます
- 道産の食材を食べて応援したいと感じました
- 毎日食べてます! ●お花素敵です!
- ステーキがとっても柔らかくて美味しかったです
- 楽しい体験をありがとう など



農産物カード

北海道の農業・農作物への理解促進のため、ほっかいどう応援スタンプラリーの参加賞として、北海道各地の産品をカードにした「農産物カード」を配布。同時に紹介リーフレットを配布。



百姓貴族、十勝ひとりぼっち農園もカード化



農産物カードリスト

カテゴリ	名称	地域
米	アボイ米	日高エリア・様似町
米	しゅうちゅうかんりくん	北海道エリア
米	びふかの特別栽培米(もち米)	上川エリア・美深町
米	北斗市で生まれたお米「ふっくりんこ」	渡島エリア・北斗市
米	北海道米	北海道エリア
麦	清里生うどん	オホーツクエリア・清里町
雑穀	キヌア	上川エリア・剣淵町
いも	小清水町の北あかり	オホーツクエリア・小清水町
いも	じゃがいも	上川エリア・南富良野市
いも	大正メークイン	十勝エリア・帯広市・幕別町
いも	ゆめいこ	北海道エリア
いも	ようてい男爵	後志エリア・JAようてい
野菜	アスパラガス	後志エリア・喜茂別町
野菜	かぼちゃ	北海道エリア
野菜	札幌黄	石狩エリア・札幌市
野菜	後志の有機野菜・自然栽培野菜	後志エリア
野菜	びらとりトマト	日高エリア・平取町
野菜	ミカサの秀ちゃん玉ねぎ	空知エリア・三笠市
野菜	リモチソ	後志エリア・蘭越町
果物	浦臼キングメルティ	空知エリア・浦臼町
果物	日本の一番北で育ったリンゴ	留萌エリア・増毛町
果物	リンゴ	後志エリア・余市町
花	当別町産ユリ	石狩エリア・当別町
畜産	白老牛	胆振エリア・白老町
畜産	宗谷の牛乳	宗谷エリア
畜産	ナチュラルチーズ	十勝エリア・足寄町
畜産	ナチュラルチーズ	北海道エリア
畜産	広尾町産黒毛和牛	十勝エリア・広尾町
畜産	ふかがわポークウインナー	空知エリア・深川市
畜産	ラムモツカレー	十勝エリア
その他	ねむろのエジシカ「根室ディア」	根室エリア

特別企画

周辺飲食店での 道産食材メニュー提供

- 73店舗が参画
- 道産食材を使用したメニューを提供
- ポスター・POP・応援シール等の
掲示によりイベントをPR

主な会場周辺飲食店(商業施設)



エリア別参加店舗

ススキノエリア

10
店舗

- レストラン サウスウエスト
- BAR & GRILL Splish
- 和食 からまつ
- レストラン ラーブル
- 北海道四季マルシェ
ココノススキノ店
- 8TH SEA OYSTER Bar
- 韓国バルYOI
- 和食と鉄板焼 まあるcasual
- チャコールスタンドススキノ
- ワイン食堂ヒノマル
ココノススキノ店

JR札幌駅エリア

5
店舗

- BEER STAND SORACHI
- あべ養鶏場 えっぐぷりん
- The Smoke Shop
- Rain Bakeshop
Sapporo Station
- Pasco夢パン工房 アピア店

大通エリア

10
店舗

- 炭焼・寿し処 炙屋
大通BISSE店
- 大衆酒場 おたる三幸
- 真御膳そば 葉実皮/創作酒肴 磁石
- 鮎 栗
- champagne bar premier
- 町村農場
- きのとや大通公園店
・KINOTOYA café
- TOKUMITSU COFFEE Café&Beans
- オムライスのお店 OMS.
- 肉の割烹 田村

狸小路エリア

5
店舗

- OMOTASE-HONPO
- NYU MEAT
- 函館麵厨房あじさい
モユク札幌店
- ジャクソンビル モユクサッポロ店
- シロクマベーカリー&

駅前通りエリア

23
店舗

- CAFE YOSHIMI
- Boulangerie Lafi
- AUX BACCHANALES
- Ptit Sale
- ゴンチャ
- 鶴雅ビュッフェ ダイニング札幌
- Cafe&bar Manhattan
- UNI DONUTS
- LA BRIQUE SAPPORO
Akarenga Terrace
- YAKINIKU BAR TAMURA
- 【間】CUGURIDO
- 鮎 栗
- エノテカ ドオーロ
- ゑぞ食堂
- HIKARI
- 東京純豆腐
- ルスト羊蹄ぶた by BRIQUE
- 中国料理 布袋
- タイガーカレー
- 北海道イタリアン ミア・ボッカ
北2条店
- クリスピー・クリーム・ドーナツ
- おにぎりのありんこ
- 麻

市内近郊エリア

20
店舗

- 北海道イタリアン
ミア・ボッカ 北口店
- 台湾料理REAL台北
(リアルタイペイ) 東急百貨店
- 台湾料理 REAL台北
(リアルタイペイ) PARCO店
- シロクマベーカリー 札幌東急百貨店
- シロクマベーカリー 丸井今井店
- らーめん山頭火 札幌北1条チカホ店
- いただきコッコちゃん北1条店
- FISHMANS SAPPORO
- 薄荷堂 札幌店
- 北海道イタリアン居酒屋
エゾバルバンバン 大通店
- 北海道イタリアン居酒屋
エゾバルバンバン
フレッシュセンター店
- ワインとお酒、フレンチおでん
ビストロバンバン
- 北海道海鮮 個室居酒屋
魚人(うおっと)
- ぎょうざとカレーのみよしの
狸小路店
- 元祖滝川 花尻ジンギスカン
- oh!huggy!! 札幌店
- 健太の骨なし手羽サッキイ
- 菓子工房マリアンナ
- Pasco夢パン工房 手稲店
- Pasco夢パン工房 野幌店

ステージ

各ステージプログラム・プログラム詳細

10月3日(金)

14:00～18:00

- 14:00 オープニング
- 14:30 出展者による魅力PRステージ
- 15:40 百姓貴族コラボ農業クイズ
～じゃがいも体験会～
- 17:00 十勝ひとりぼっち農園
スペシャルトーク
- 17:40 エンディング



10月4日(土)

10:00～17:00

- 10:00 オープニングセレモニー
- 10:15 農業PR動画コンテスト表彰式
- 11:00 子ども餅まき
- 11:30 百姓貴族コラボ農業クイズ
～牛乳体験会～
- 12:20 出展者による魅力PRステージ
- 13:10 農業系高校座談会
「do(道) you 農?」
- 14:00 牧場のおしごと(酪農教育ファーム)
- 15:00 ホワイトレンジャーショー
- 15:40 道産品原料に迫る
「ほぼ道産品って知ってた?」
- 16:40 エンディング

10月5日(日)

10:00～15:00

- 10:00 オープニング
- 10:30 ホワイトレンジャーショー
- 11:00 出展者による魅力PRステージ
- 12:30 百姓貴族コラボ農業クイズ
～じゃがいも体験会～
- 14:00 ホワイトレンジャーショー
- 14:40 フィナーレ



オープニングセレモニー

獅子舞演舞による華やかな演出とともに、
鈴木直道 北海道知事からの挨拶で開幕。



農業PR動画コンテスト表彰式



農業系高校生が制作した北海道農業や農村の役割・魅力を伝えるPR動画コンテストの受賞作品を紹介、上映。また、北海道知事より各受賞高校への表彰を実施。

農業系高校座談会「do(道)you 農?」



未来を担う高校生による座談会。農業高校ならではの「農業あるある」や、そこで得ている学びや経験を将来にどう活かしていくのかなど、高校生が抱く未来への展望を語った。

ステージ

出店者による魅力PRステージ



ブースでの出品物、地元の特産品など各出展者による魅力PRステージをイベント期間中(3日間)毎日実施。

百姓貴族コラボ農業クイズ



北海道農業をわかりやすく伝える教育アニメ「百姓貴族」をモチーフに、じゃがいも、牛乳にまつわるクイズを出題。

子ども餅まき



ホワイトレンジャーや、ご当地のゆるキャラ(着ぐるみ)が登場し、子どもたちにお餅を楽しく配布。

牧場のお仕事 (酪農教育ファーム)



牧場のお仕事(酪農教育ファーム)「酪農家と牛の対話」をテーマに寸劇形式で牧場の仕事を紹介。

道産品原料に迫る 「ほぼ道産品って知ってた?」



実は北海道産の原料を使用している全国のご当地商品や有名商品を紹介。さらに、北海道産食材に精通した有識者を招き、「なぜ北海道産の食材が選ばれるのか」をわかりやすく解説。

ホワイト レンジャーショー



北海道を代表する3つの白い食べ物(お米・牛乳・砂糖)を広める正義の味方ホワイトレンジャーが農業クイズやダンスに挑戦。

来場者アンケート

【実施日】2025年10月3日～6日

【実施方法】スマホ(QRコード読み込み)

両会場にて、声掛けしQRコードより読み込んでアンケート回答いただいた。

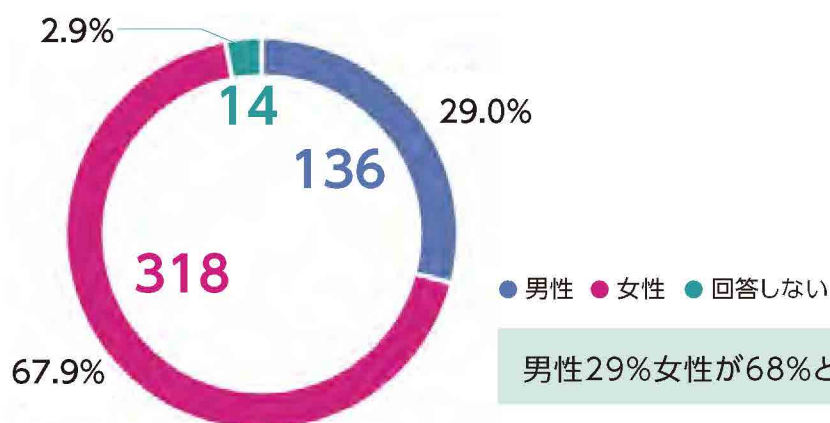
また、パンフレット掲載のQRコードからも回答できるため6日まで受け付けた。

【回答数】468人

会場でのアンケート回答者には、JAきたみらい産のじゃがいも「ゆめいころ」3～4個入りをプレゼント。

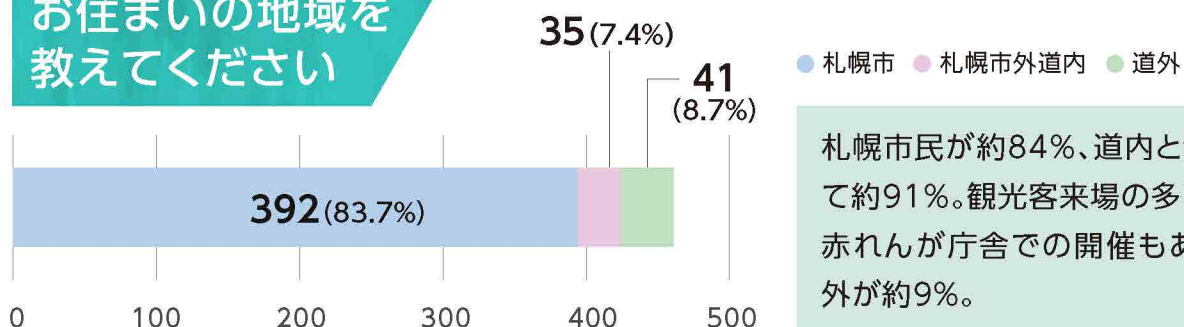


性別を教えてください



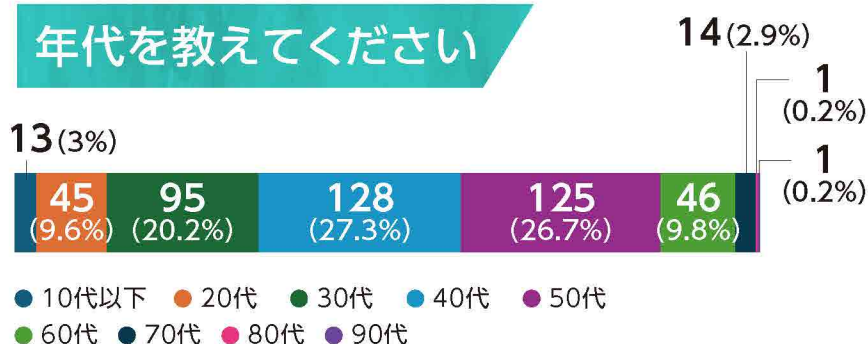
男性29%女性が68%と女性が多かった。

お住まいの地域を教えてください



札幌市民が約84%、道内と合わせて約91%。観光客来場の多い道庁赤れんが庁舎での開催もあり、道外が約9%。

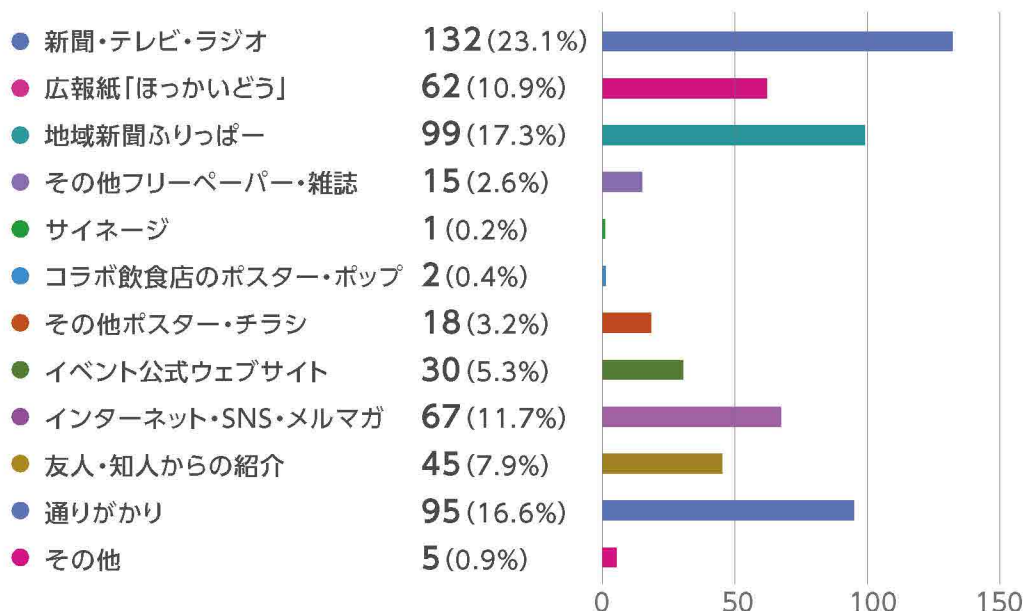
年代を教えてください



40代～50代が54%を占めた。続いて30代が20%、20代10%。インターネット、SNSの広告は限定的だったが、比較的低めの年齢層が来場していた。

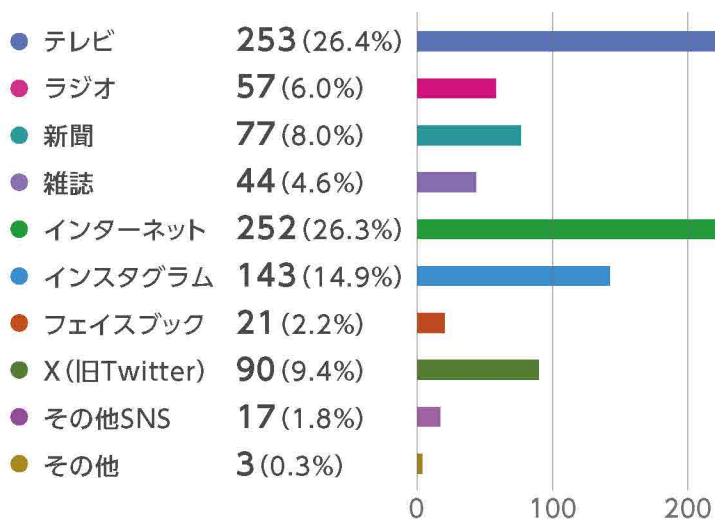
来場者アンケート

このイベントをどこで知りましたか? (複数回答可)



初日にテレビ番組で生中継されたこと等から、「新聞・テレビ・ラジオ」が132人と最も多かった。次いで「地域新聞ふりっぱー」が99人と多くを占め、札幌市内近郊で月間82.6万部を全戸宅配するフリーマガジンによりターゲット層である札幌市民へ確実に情報を届けることができた。

情報を得る際に最もよく利用するものを教えてください (複数回答可)

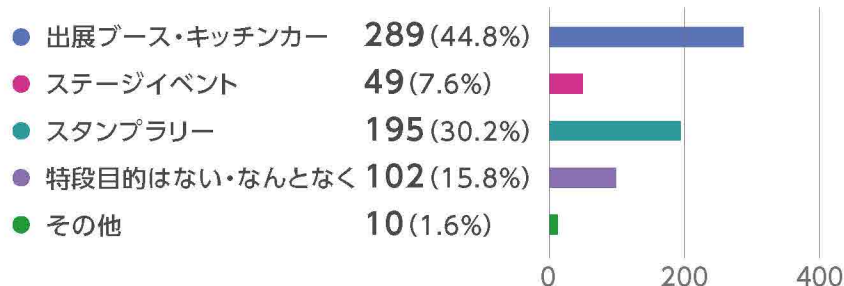


情報を得るすべとして、「インターネットSNS系を利用」が54.6%。「テレビラジオ新聞雑誌の4大マスコミ」で45%・「趣味娯楽」では、インターネットが優位といわれる(※1)中、今回の調査では、まだまだ4大マスコミからの情報利用が多い。

※1 総務省「令和6年度 情報通信メディアの利用時間と情報行動調査」

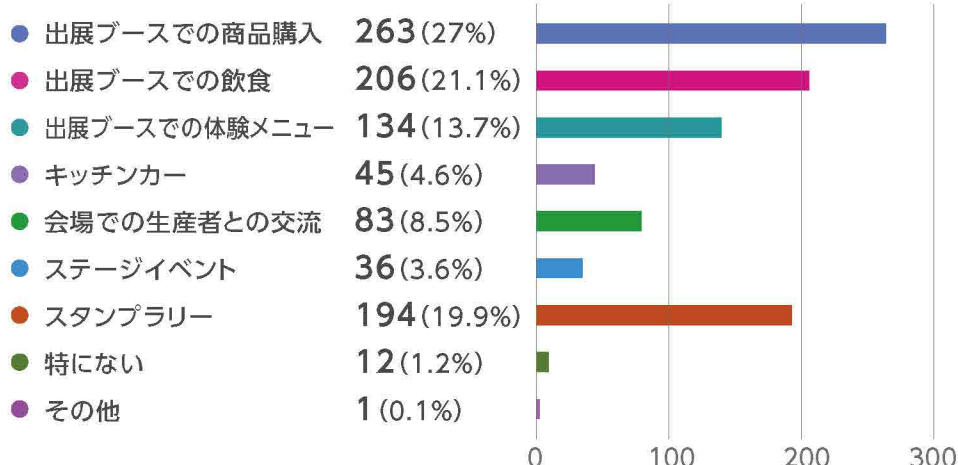
来場者アンケート

来場の目的を教えてください(複数回答可)



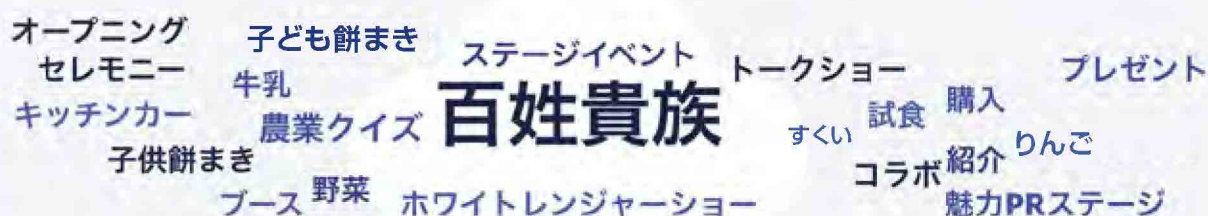
「出展ブース」が45%、「ステージイベント」が8%と、事前認知し目的来場した者が53%を占めた。「スタンプラリー目的」での来場が30%と多く、事前告知媒体および、スタンプラリーの起点の1つの地下歩行空間でのイベント「JP01まつり」からの誘客も少なくない。

イベントの中で良かったものを教えてください(複数回答可)



出展ブースでの「商品購入」「飲食購入」「キッチンカー」と商品販売にかかわるものが52.7%。体験メニューが13.7%。生産者との交流が8.5%。スタンプラリーは約20%の支持があり、周遊目的の効果があったと思われる。

ステージイベントの中で特に良かった企画を教えてください

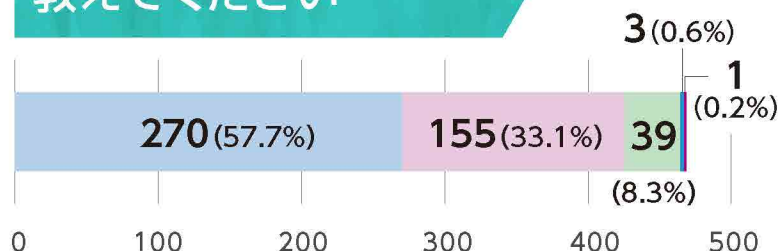


アンケートの自由回答を視覚的に表現する方法「ワードクラウド※」で表現した。「百姓貴族」34人(7%)が回答したのがもっとも多く出てきたワード。次いで「農業クイズ」16人(3%)、「試食」が14人(3%)、「コラボ」13人(3%)と続いた。なお、「すくい」は卵・にんにく・お米・野菜などの「すくい」。

※ワードクラウドは、回答の中で頻出する語句を視覚的に強調することで、回答傾向や注目トピックを直感的に把握できる手法で、文字の大きさや色で出現頻度を表すことが多く、自由記述の分析やイベントの印象把握などに広く使われる。

来場者アンケート

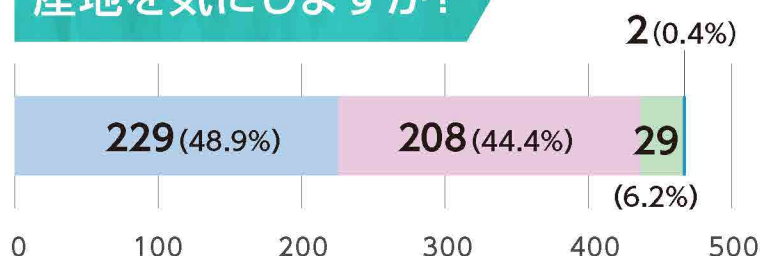
イベント全体の満足度を教えてください



- 非常に満足
- やや満足
- 普通
- やや不満
- 不満

「非常に満足」「やや満足」と回答したのが91%と、満足度は高かった。

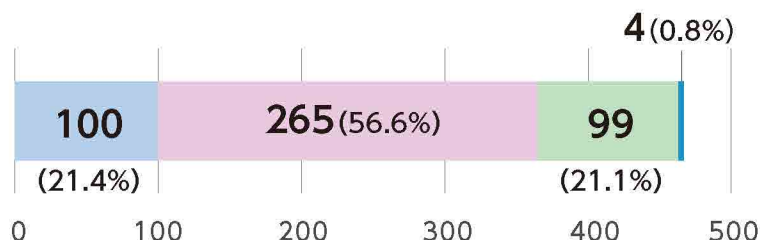
農産物を購入する際、産地を気にしますか？



- とても気にする
- まあ気にする
- あまり気にしない
- まったく気にしない

「とても気にする」「まあ気にする」の回答が93%を占めた。

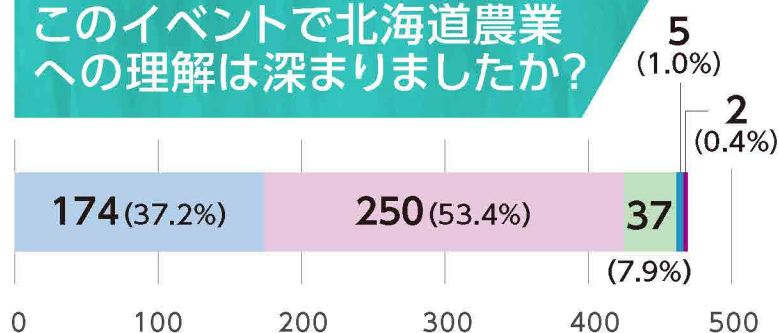
北海道の農業について、どの程度知っていますか？



- よく知っている (作物の種類や生産地も理解している)
- ある程度知っている (主な作物や特徴はわかる)
- あまり知らない (なんとなくしかわからない)
- まったく知らない

「よく知っている」「ある程度知っている」の回答が78%を占める一方、22%には、まだ知られておらず。引き続き、農業の魅力発信に取り組む必要がある。

このイベントで北海道農業への理解は深まりましたか？



- かなり深まった
- 深まった
- 変わらない
- あまり深まらなかった
- まったく深まらなかった

「かなり深まった」「深まった」が90%を占めており、本事業の目的に近づいた。

主な広報実績

8/29

特設ホームページ開設／告知動画のYoutube公開／知事記者会見でのプレス情報提供



9/月上旬

道内公共施設・コンビニ店舗等へのポスター掲示／本庁舎デジタルサイネージでの動画放映



9/15

雑誌「O.tone」広告掲載



9/17

PR TIMES 記事公開



9/22

Googleディスプレイ 広告掲載

9/23

フリーペーパー「ふりっぱー」巻頭特集掲載



9/29
～

街頭ビジョン放映
(JR札幌駅、地下鉄大通駅、コナスキ)



主な放送実績

9月26日(金) HTB「イチオシ!!」

10月3日(金) STV「どさんこワイド179」
HBCラジオ「グッチーのGood Friday!!」

10月4日(土) J:COMチャンセル「ジモトトピックス」



主な報道実績

- 北海道新聞(9/21、10/6)、
- 日本農業新聞(9/3、26、10/4)
- 苫小牧民報(9/1)
- 十勝毎日新聞(9/12、10/17)
- ほか業界紙等

地元の食楽しみ農業応援しよう
北海道は10月3～5日、食を楽しむ農業を応援するイベント「ほっかいどう秋の大収穫祭」を札幌市内で初めて開く。道内の農産物など、秋の野菜や果物などを販売する。
実行3～5日
道、初の「大収穫祭」
会場は、札幌市中央区の赤れんが庁舎前庭と札幌市北条地区の、リンゴやジャガイモ、タマネギのほか、チーズなどの加工品も販売する。農業産物「十勝ひとりのぼろ」の作者・横山裕二さん(十勝市青柳町在住)のトークショーもある。
3日は午後2時～6時、4日は午前10時～午後5時、5日は午前10時～午後3時、入場無料。問い合わせは道食料安全推進課。電話011・204・5376へ。(道庁発表)



9/21 北海道新聞朝刊

10/06 北海道新聞 全道版朝刊

